

子どもたちの明日

Children, Our Future

2022年11月

135号

目次

- ・ 元気をもったカンボジア訪問 1頁
- ・ ロシタちゃんの暮らし 3頁
- ・ CYR 情報 4頁

元気をもったカンボジア訪問

副代表理事 関口 晴美



お母さんとおしゃべりしながらゴミ集め

この夏、3年ぶりにカンボジアへ出かけました。訪問中同行した保護者の学習会、そして活動を現場で支えているプノンペン事務所の様子に触れ、元気をもって帰ってきました。

村のお母さんたちの学習会

「村の幼稚園」のお母さんたちの多くは縫製工場などへ働きに出ているので、学習会は日曜日に開催です。トロピエンプリン村に到着すると、既にたくさんのお母さんと子どもが来ていました。今日の学習会のテーマは、「綺麗にすること ゴミ掃除」。ゴミがどこにでも捨てられているカンボジアで、お母さんたちが家庭で子どもと一緒にゴミを集めて掃除できるように考えられた内容です。

この村のホーン・ソクン先生は、「村の幼稚園」の保育者としては初めての大学卒です。おとなしく恥ずかしがり屋のため、保護者とのコミュニケーションを取るのが苦手と聞いていました。と

ころが学習会でのソクン先生は別人のようでした。子どもと一緒にゴミを集め、参加者に話しかけながら掃除のデモンストラーションをします。その話しぶりと顔の表情から、自信を持ってこの学習会に臨んでいることが伝わってきます。学習会の内容を自分できちんと理解して準備できていたからに違いありません。同じ内容の学習会を開いた別の村の幼稚園の先生に電話をして、話の進め方や歌や踊りを入れるタイミングの参考にしたいそうです。保育アドバイザーのソパニーさんにも学習会の進め方で疑問に思っていた点を確認してありました。そしてなによりも特筆すべきことは、幼稚園に扇風機をつけたいので協力してほしいと呼びかけたことです。その場で何人かのお母さんたちが2.5ドル（1万リエル）、3ドルの協力をすると約束してくれました。参加者が帰った後、皆で活動を振り返りました。お母さんたちに扇風機をお願いしたことは真っ先に褒められ

ました。デング熱の説明は時間が足りず次回に繰り越しとなりましたが、全体としては充実したものでした。お母さんたちは、これからは叱ってばかりではなく子どもと一緒に掃除をしながら話し合うようにしたいと楽しそうに話していました。先生としては、どのお母さんも喜んで歌や踊りを一緒にやってくれたことが嬉しかったそうです。

この学習会に同行し、ソクン先生の満足した表情や参加しているお母さんたちの屈託のない大きな笑いに私もとても励まされました。埃っぽい園庭で追いかっこや石当て遊びをしている元気な子どもたち。お腹が空いたと言って泣いていた子どもがひとかけらのパンをもらったときのうれしそうな笑顔。そしてゴミ拾いの手伝いをする誇らしげな子どもの表情。それぞれの様子にたくましさでカンボジアの暮らしに未来につながる変化が少しずつ生まれてきているのを感じました。



先生と一緒に踊りを練習する母親たち

CYK スタッフのがんばり

コロナで幼稚園の休園が続いた二年間、そして再開した今も、スレイさんはじめCYKのスタッフは懸命に保育支援活動を行なっています。移転して「村の幼稚園」に出やすくなった新しい事務所を訪れることも、今回のカンボジア訪問の楽しみのひとつでした。そばには、2005年からしばらく支援した小学校と幼稚園があります。今でも多くの子どもたちが通ってきています。しかし、小学校にあった大きな池の周りの土地は企業に売られ、保

育所だったところに広い道路ができ、新しい家や工場が建てられています。年月の流れを実感しました。

前の事務所からは自宅が遠かったスレイさん。今は15分で来られるようになりました。一方、ブントゥアンさんは渋滞を避け、朝6時30分には事務所に着いています。ふたりはそれぞれの仕事をこなしながら、スタッフと一緒に資金調達にも励んでいます。カンボジアや外国の友だち・親戚に寄付

を呼びかけ、オンラインで募金を始めました。目標額に達するのは、カンボジアでもとても厳しい状況です。私も東京での資金集めを頑張ろうと改めて思っています。

現在支援している「村の幼稚園」や保育者・保護者の研修が地域に根付いて30年、50年先まで継続して自立運営されていきますように願っています。



お片づけも好きなロシタちゃん

ロシタちゃんの暮らし

1月に開園したプレクンロンの「村の幼稚園」。そこに通うロシタちゃんはとても賢く、先生や友だちの話をよく聞く活発な子です。ロシタちゃんに幼稚園の話やご家族の話を楽しみました。

「わたしはマツ・ロシタです。幼稚園で友だちと遊ぶのが大好きです。仲の良い友だちもできました。休み時間には、よくその友だちと人形遊びをします。滑り台でみんなと一緒にすべったり、シーソーに並んで座っておしゃべりをするのも好きです。遊び終わったら遊んだものをきちんと元に戻すのも好きです。先生から大きくなったらどんなお仕事がしたいですかと聞かれたけれど、まだ考えたことがありません。友だちはよくお医者さんや学校の先生になりたいと言いますが、何になるかわかりません。

私は毎日6時に起きます。朝ごはんは焼き魚のおかずをよく食べます。そして幼稚園の白いブラウスに着替えて6時40分にはおばあちゃんが幼稚

園に送ってくれます。オートバイの運転が上手です。幼稚園に行く日はおばあちゃんがお小遣いをくれます。2,000リエル(約70円)です。お腹がすいたら何か買って食べるようにです。幼稚園にきている友だちもそういう子が多いです。休み時間に飲み物とかアイスやお菓子を買って食べます。でも、甘い冷たいジュースはお腹をこわすから、あまり飲まないようにと先生に言われました。また、お小遣いをもらったときおばあちゃんにちゃんとお礼を言っていますかとも聞かれました。お礼を言ったことはありませんでした。それからはオートバイで送ってもらったりお小遣いをもらったときには、ありがとうと言うようになりました。

おばあちゃんは、60歳くらいです。牛を飼ったり、家で食べる野菜、空芯菜、タロイモ、パクチーなどを植えています。川で魚もとります。私も毎日おばあちゃんの仕事を手伝います。朝起きたら蚊帳をたたんでマツの上に片付けます。幼稚園から帰ったら畑の野菜に水をやります。家の掃

除もします。日曜日にお母さんが料理を作る時にも野菜を洗ったり切ったりなんでも手伝います。ご飯のあとは、お皿洗いもします。私は野菜が好きなので、野菜入りのスープやお魚の料理が大好きです。中でもたけのことハスの茎の入った酸っぱい魚のスープが一番好きです。家でたべるおやつはチョコレート味のクッキーも好きです。」

ロシタちゃんの家族

お母さんが仕事のことや家族との様子について話しました。「私は縫製工場に働いています。朝5時40分に乗り合いトラックで出かけ、午後4時まで働きます。朝はロシタはまだ寝ている間に家をでるので、ロシタと一緒に食事ができるのは夕食と日曜日だけです。おばあちゃんにお願いしてロシタの世話をしてもらっていますが、言うことをよく聞いていい子にしているようです。幼稚園の話聞くのが楽しみです。」

ロシタちゃんのお父さんはずっ



プノンペンにできた新しいショッピングセンターで

と出稼ぎに行っています。「夫は結婚する前から長い間自動車の備品を作る仕事で韓国に働きに出かけていました。4年10ヶ月間の契約期間を終えて村に帰ると、小学校の教室を借りて韓国語を習いたい人に教えていました。教室に行った私は主人から声をかけられ、すぐに結婚することになりました。夫は母親と二人暮らしでしたので、カンボジアでは珍しく私が夫の家でお母さんと一緒に住むことになりました。結婚してすぐにロシタが生まれました。9ヶ月になったとき、また韓国での仕事の話があり夫は働きに行きました。今は調味料のパッキングの工場で働いています。ですからロシタはお父さんと一緒に過ごす時間がほとんどありません。毎日のように韓国にい

る夫とメッセージで話をしています。でもロシタは恥ずかしがって話したことはありません。

夫の仕事は3年過ぎるとまとまったお休みがとれる決まりがあり、今年の2月に帰ってきました。ロシタはお父さんが韓国から買ってきてくれたお土産の綺麗なワンピースがとても気に入っています。長い間会っていなかったので話すのが恥ずかしかったようですが、お休みの間、市場に行ったりカバンや洋服も買ってもらいました。早く夫がカンボジアに帰ってきて一緒に住めたらいいと思います。」

ロシタちゃんは、もうじき6歳になります。来年は幼稚園のすぐとなりの小学校へ通います。勉強が好きなので、とても楽しみにしています。

今度お父さんが韓国からカンボジアに帰ってくる際には、ロシタちゃんは小学校2年生です。成長するロシタちゃんをそばで見守れないのは残念ですが、会えるのを心待ちにしているそうです。



CYR 情報

2023 年カレンダー

フォトジャーナリスト高橋智史さんにご提供いただいたカンボジアの子どもたちの日常が感じられる写真をカレンダーにしました。1部 1,000 円(税・送料込み)です。

同封の専用申込書兼振込用紙に記入し、お振込ください。

振込期限：2022 年 11 月 25 日(金)

会費お振込み・活動へのご支援は、下記までお願いいたします。

郵便振替 00110-8-36227
三菱 UFJ 銀行 六本木支店(普通) 1351747
特定非営利活動法人幼い難民を考える会

幼い難民を考える会 (CYR) は認定 NPO 法人です。
ご寄付は税制優遇措置の対象となります。

子どもたちの明日 135 号

発行日：2022 年 11 月 10 日 発行者：藤川 祥子

プノンペン事務所(CYK)

Borey Piphub Thmey Chhouk Va III, #55, St.95, Prey Sala Village, Sangkat Kakab, Khan Posen Chey, Phnom Penh, Cambodia
TEL: (+855) 23 882 972 FAX: (+855) 23 882 971
Email: info@cyk.org.kh
URL: <http://www.caringforyoungkhmer.org/>

特定非営利活動法人幼い難民を考える会 東京事務所 (CYR)

〒110-0016 東京都台東区台東 1-12-11 青木ビル3B
TEL: 03-6803-2015 FAX: 03-6803-2016
Email: info@cyr.or.jp URL: <https://www.cyr.or.jp/>